

第3次船橋市障害者施策に関する計画策定委員会（第8回）議事録

日時 平成27年1月22日（木） 午後1時～午後1時30分

場所 船橋市役所9階 第1会議室

出席者 20名（欠席10名）

傍聴者 0名（定員5名）

議 事

議事1 「第3次船橋市障害者施策に関する計画」（案）について

議事概要

1 開会

○事務局（障害福祉課 福原）

それでは定刻となりましたので、ただいまから、第8回第3次船橋市障害者施策に関する計画策定委員会を開催いたします。会に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料といたしましては、事前送付資料といたしまして、資料1-1「第3次船橋市障害者施策に関する計画（案）」。

資料の右上に「資料1-1」と加番してございます。資料1-2「第3次船橋市障害者施策に関する計画（概要版案）」ですね。また、本日配布資料といたしまして、資料1-3、A4横の資料になりますけれども、「パブリックコメント（案）との変更点について」、資料1-4「第3次船橋市障害者施策に関する計画（素案）に対する意見募集の結果について」、資料1-5「パブリックコメントを受けての計画（案）の修正について」、資料1-6「第3次船橋市障害者施策に関する計画素案について」、そのほか、本日の「次第」、「座席表」を配布させていただきます。以上が配布資料となっておりますが、資料が不足されている方はいらっしゃいますでしょうか。

次に発表にあたってのお願いがございます。マイクは発言の際にスイッチを入れ、終わりましたらスイッチをお切りください。また、御発言の際にはお名前を最初におっしゃっていただきますようお願い申し上げます。本日の会議につきましては、船橋市情報公開条例第25条に基づき公開となり、会議の傍聴のほか会議録及び委員の氏名の公表をすることとなっております。次回以降、

個人情報などの不開示情報を含む議事の場合、非公開となりますのでよろしくお願い申し上げます。それでは、この後の議事進行を中坪晃一委員長にお願いいたします。

○中坪委員長

委員長です。お忙しい中、寒い中、しかも雨の降っている中、お運びいただきまして御苦勞様でございます。それでは、ただいまから、第8回第3次船橋市障害者施策に関する計画策定委員会の議事に入らせていただきます。本日は30人中20人の方の御出席をいただいておりますので、「第3次船橋市障害者施策に関する計画策定委員会設置要項第5条第2項」の規定により、過半数以上の出席となり委員会が成立いたします。なお、本日は傍聴者がいないと伺っておりますので、御承知おきいただければと存じます。それでは、本日の議事事項に入りたいと存じます。

議事の1、「第3次船橋市障害者施策に関する計画（案）」について、事務局より御説明をお願いいたします。

2 議事

議事 1

「第3次船橋市障害者施策に関する計画」（案）について

○事務局（障害福祉課 玉川）

事務局の玉川です。それでは「第3次船橋市障害者施策に関する計画（案）」について御説明させていただきます。まず、パブリックコメント時点の計画案との変更点についての説明を、続いてパブリックコメントの結果と、それに伴う計画案の変更等の御説明をさせていただき、最後に、皆様に御了承いただきました案について、策定委員会の意見として市長に報告することを御了承いただきたいと思います。

それでは、まず前回の会議後に、皆様に配布させていただきましたパブリックコメント時点の、計画案との変更点について御説明させていただきます。パブリックコメント時点の案との変更点は、主に3点あります。音声コードの添付、写真・イラストの挿入、案の内容についての変更点です。

まず、音声コードの添付についてですが、資料1-1「第3次船橋市障害者施策に関する計画（案）」をごらんください。ページの右下などに、音声コード読み上げ装置での読み上げを可能にするための、音声コードを添付させていただいております。なお、この音声コードの添付により、パブリックコメント時

点の計画案とのページずれなどが生じております。

続きまして、写真・イラストの挿入です。計画（素案）の空きスペースを活用し、写真やイラストを挿入させていただいております。

資料１－１、７ページの裏面をごらんください。こちらに平成２５年度に行った障害者週間記念事業の際の催し物で、踊りを踊っている写真となっております。このように空きスペースを活用し、写真・イラストを挿入させていただいております。

続きまして、案の内容変更について説明させていただきます。資料１－３「パブリックコメント（案）との変更点について」をごらんください。パブリックコメント案の４ページの１９行目に「高齢化社会の到来に伴い」という文章がありましたが、この「高齢化社会」を、「超高齢社会」とさせていただきたいと思っております。高齢化社会とは６５歳以上の人口割合が７％～１４％を超える社会を指し、船橋市においては平成２６年１０月現在で、その割合が２２％を超えることから、一般的には「超高齢社会」と呼ばれる状態であることから、修正をさせていただくものです。なお、この修正は、本日配布してある計画案について修正をさせていただいておりませんが、この計画案策定時に修正させていただく予定となっております。

次に資料１－３、変更点の②をごらんください。こちらの項目８、「歯科診療の充実」につきまして、平成２６年第４回定例会、この１２月の議会において、船橋市歯科診療条例が可決したことにより、「さざんか歯科診療所」のほか、今後建設される（仮称）保健福祉センター内に、新たに障害のある人も対象とした歯科診療所が開設される方向性が示されたことから、それに合わせて、施策の方向性の項目の修正を行っております。

続きまして次ページ、２ページ・③をごらんください。こちらの項目２、「精神障害者及び家族に対する相談事業の推進」につきまして、「現状」を、保健所で行っている相談支援事業について訪問支援を充実させていくという方向性から、計画案についての別記を行っております。以上がパブリックコメント時点の計画案との変更点となります。

○中坪委員長

前回のあと、パブリックコメントをする段階での変更点ということの御説明です。音声コードの添付、それから写真・イラストの挿入。内容に関わって、計画案の変更点ということで幾つか御説明がありました。このことについて御意見等があればお出しいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

○山田委員

「ちば MD エコネット」の山田です。単純な質問なんですが、今の変更点の①です。「超」というのを付けたというお話なんですが、そうすると「超高齢化社会」になるんですか、それとも「超高齢社会」なのか。この「化」というのが抜けているので、それがどちらかということをお聞きしたいと思います。

あと、感想としましては、音声コードと写真やイラストを入れていただいたことは、大変良いのではないかと思います。以上です。

○中坪委員長

はい、ありがとうございます。1点目の音声コードと写真・イラストについては、内容の変更ではございませんので。「より分かりやすく」ということだと思いますので、御異存はないかと思います。

3点目の表記でしょうかね。高齢社会、高齢化社会、「化」を入れるかどうかということですが、いかがでしょうか。事務局、いかがですか。

○事務局（障害福祉課 玉川）

事務局の玉川です。こちらについては「超高齢社会」で間違っておりません。こちらの資料の通り「超高齢社会」で、「化」は入らない形となっております。

○山田委員

はい、ありがとうございます。

○中坪委員長

ほかにはいかがでしょうか。特に御意見なさそうですので、続きまして次の御説明をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

○事務局（障害福祉課 玉川）

それでは続きまして、パブリックコメントの結果と、それに対応する市の考え方、計画案の修正の有無等について御説明をさせていただきます。資料1-4、「第3次船橋市障害者施策に関する計画（素案）に対する意見募集の結果について」をごらんください。

第3次船橋市障害者施策に関する計画（素案）に対する意見募集、パブリックコメントについては、広報ふなばしや、ホームページ等により周知を行い、平成26年12月16日から平成27年1月15日の期間において意見募集を行いました。意見募集の結果、2名の方から6件の意見をいただきました。

いただいた意見の要旨、およびそれに対応する市の考え方を示したものが、

資料１－４の資料となっております。意見番号において１－１から１－５までという記載で示させていただいておりますが、これは「一人の人から五つの意見をいただいた」という整理をさせていただき、またその中でも①、②という形で意見の要旨とそれに対応する市の考え方という形で示させていただいております。

一人目の方から「障害児支援の充実」。２ページを開いていただきまして、「教育環境の整備」、「文化芸術活動、スポーツの振興」。３ページを開いていただきまして、「障害のある人の雇用促進」、「防災対策の推進」について。二人目の方から「要援護者防災対策、福祉避難所の運営について」という御意見をいただきました。いただいた意見についての市の考え方については、資料に記載させていただいているとおりです。このいただいた意見の計画案の反映について検討を行わせていただきました。

資料１－５「パブリックコメントを受けての計画（案）の修正について」をごらんください。いただいた意見の中で、意見番号２－１「要援護者防災対策、福祉避難所の運営について」の意見をいただいたことに対し、原案では“障害のある人と共に防災対策を行っていく”という点が若干伝わりにくかったのではないかということから、資料１－５の①のとおり、災害対応の充実の施策の方向性について、「障害のある人などの要配慮者も参加した防災訓練」という形で計画案を修正するとともに、また防災訓練等についての実施指導をとおして障害福祉課も災害対応の充実を図っていくということから、担当課に障害福祉課も追記という形で記載をさせていただいております。

以上が「第３次船橋市障害者施策に関する計画（案）」への、パブリックコメントの船橋市の考え方についての説明となります。

○中坪委員長

はい。パブリックコメントでいただいた意見を反映させて、ということの御説明でございます。ただ今の御説明に、何か御意見等があればお出しいただきたいと存じますがいかがでしょうか。うなずいておられる方が多いかと思いますが、とくに御意見がなければ、こういうことで了解をするということによろしいでしょうかね。

はい。それではこの委員会としては、事務局から御説明があった修正を加えたものを、策定委員会の計画案として了承するものとしてよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。御了承いただいたということで、最後に市長に対する策定委員会からの計画案についての説明について、事務局からお願いいたします。

○事務局（障害福祉課 玉川）

事務局の玉川です。本日の了承していただきました案につきましては、資料 1－6「第 3 次船橋市障害者施策に関する計画（素案）について」の文章とともに、市長に提出させていただきたいと考えております。

○中坪委員長

先ほど御了承いただいた計画案について、策定委員会の意見として市長に提出するということなのですが、特段、問題がないようにも感じますが、よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

ということで、随分早いのですが、ありがとうございました。御了承いただいた案について、市長に提出するということで御了承いただきましたので、これをもちまして、私の議長としての役割は終わったということになります。ありがとうございました。このあとの進行については、事務局をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○事務局（障害福祉課 福原）

皆様、ありがとうございました。今後のスケジュールになりますが、本日で策定委員会につきましては終了となります。計画につきましては、委員会での最終案について、今後、市長に報告を行い、その後、計画を決定いたしまして、議会に報告する流れとなってございます。計画の冊子が完成いたしましたらば、皆様にも送らせていただきたいと思いますので、今しばらくお時間をいただきたいと思いますと考えてございます。長い間、ありがとうございました。

ここで、障害福祉課長より一言、ごあいさつを皆様にさせていただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

○事務局（障害福祉課長）

障害福祉課長の佐藤でございます。委員の皆様方にとって、1 年 2 カ月という長期間にわたりまして、この第 3 次障害者施策に関する計画策定委員会に御協力、また御尽力いただきまして誠にありがとうございます。

この 3 次計画につきましては、生活支援、それから保健・医療、教育・スポーツ、雇用など、船橋市における障害のある方のための、そういう施策の最も基本的な計画でございます。市といたしましても、現状的な取り組みはもちろんのこと、関係機関との連携を図りながら着実に推進したいと考えております。中坪委員長を初めといたしまして、委員の皆様、長期にわたり本当にありがとうございました。

○事務局（障害福祉課 福原）

ありがとうございました。それでは、最後に委員会代表といたしまして、中坪委員長から一言いただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

○中坪委員長

委員長の中坪です。一昨年１１月から本日まで、課長さんのお話とも重なりますけれども、８回にわたって第３次船橋市障害者計画の策定に関して御審議をいただいてまいりました。おかげさまで、委員の皆様の御熱心な協議と事務局の方々の下支えで、案をまとめることができました。本当にお疲れ様でございました。

このあとは、計画の実行段階に入ります。障害のある人がどの人も、人として当たり前の暮らしができるよう、それぞれのお立場で、またできるところで、施策の実行状況を見守りながら、お力を発揮していただければと存じます。審議の進行等、行き届かないことも多々あったかと存じます。にもかかわらず、御寛容にお許しいただき、御協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。お礼を申し上げて、あいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

○事務局（障害福祉課 福原）

中坪委員長、ありがとうございました。少々お待ちくださいませ。

○事務局（障害福祉課 玉川）

失礼しました。先ほどの資料のところで、資料１－３の③のところなんですけれども、施策の方向性につきまして、資料では、「保健所における相談支援事業については、訪問支援を充実させていただきます」という形になっておりましたが、「医療機関や地域の福祉関係機関との連携を強化しつつ」という文言が抜けておりましたので、こちらについては、「保健所における相談事業については、医療機関や地域の福祉関係機関との連携を強化しつつ、訪問支援を充実させていきます」という形で計画案を修正させていただきたいと思います。以上です。

○中坪委員長

一応、念のために、よろしいでしょうか。それでは、今のお話についても了承したということにさせていただきます。あと、なければ、本当に終わりにしたいと存じますが、いかがでしょうか。事務局、何かありますか。

○事務局（障害福祉課 福原）

中坪委員長、ありがとうございました。それでは以上をもちまして、第3次船橋市障害者施策に関する計画策定委員会を終了させていただきたいと思います。皆様、本当に長い期間ありがとうございました。